

【投稿規定】

1. 投稿できるのは、原則として会員の方に限ります。
2. 原稿の種類と枚数は以下の通りです。
 - ①論文・研究ノート・書評論文・ヒストリオグラフィー
20,000 字（400 字換算 50 枚）以内。図表・註も含まます。
 - ②史料紹介 8,000 字（400 字換算 20 枚）以内
 - ③書評 8,000 字（400 字換算 20 枚）以内
 - ④文献紹介 2,000 字（400 字換算 5 枚）以内

※原則として過去 5 年以内に刊行された学術文献を対象とします。
3. 書き下ろし原稿に限ります。また他誌への二重投稿は認めておりません。
4. 論文・研究ノートには簡単な要約（800 字以内）を添付して下さい。
5. 原稿は Word または一太郎で作成して下さい。
6. 原稿は E-mail に添付して送信するか、郵送して下さい。郵送の際は、プリントアウト 3 部（コピー可）およびディスクを提出して下さい。提出された原稿・ディスクは返却致しませんのでご了承下さい。
7. 特集テーマおよび投稿の締切日は、本学会ホームページに掲載します。
8. 投稿の際、住所、氏名（ふりがな）、所属と職位、電話番号・E-mail アドレス等連絡先を明記した別紙も添付して下さい。
9. 原稿の採否は編集委員会が指名した査読者 3 名の査読結果を編集委員会が総合的に判断して決定します。
10. 掲載が決定した原稿の執筆者校正は原則として 1 回のみとします。校正は印刷上の誤り、不備の訂正のみにとどめて下さい。校正段階において著しい加筆や訂正があった場合、編集委員会の判断で掲載を中止する場合があります。
11. 掲載された論稿に対する原稿料は支払われません。論文、研究ノート、書評論文、ヒストリオグラフィーには抜刷 20 部を無料送付します。これ以上は実費を頂きます。
12. 原稿提出先は「戦略研究学会 編集委員会」です。

113-0033 東京都文京区本郷 3-3-13 E-mail : gzc05476@nifty.ne.jp
13. 以上の投稿規定および執筆要領を遵守していない原稿は受理致しませんのでご注意下さい。

【執筆要領】

1. 原稿は横書きとし、使用言語は基本的に「日本語」とする。
2. 審査過程での匿名性を保証するため、投稿者が特定できるような情報は記載しないこと（「拙著、拙稿」など）。また、謝辞などは掲載決定後の最終原稿で挿入すること。
3. 図表は本文中に挿入せず別文書で作成する（挿入箇所明示）。他から図表を引用する場合は出所を明記する。また、権利者の許諾が必要な場合は投稿者が所要の手続きを行う。
4. 本文は、序論、本論、結論の順に記述し、本論の章・節・項の区別はⅠ、1、(1)とする。
5. 本文に初出の人名は原則としてフルネームとし、非漢字使用圏における人名はカタカナ表記した後、（ ）にアルファベット表記を付す。
6. 算用数字とアルファベットはすべて半角を用いる。
7. 単位記号は用いず、カタカナ書きとする。ただし図表では記号を用いてもよい。（例）パーセント、キログラム、キロメートル、トン
8. 英語で日付を表記する際は、「日月年」の方法を用い、「月」についてはスペルアウトする。（例）27 March 2006
9. 注はすべて、本文末尾に一括して掲げる形式をとる。
10. 文献の表記については下記の表記例に準ずること。なお、それぞれの研究分野における慣例的な方法を採用する場合は、事前に編集委員会に連絡すること。
 - ①日本語文献
 - ・赤木完爾『第二次世界大戦の政治と戦略』慶應義塾大学出版会、1997年、87頁。
 - ・デーヴィッド・マッカイズック「大空からの声——空軍力の理論家たち」ピーター・パレット編、防衛大学校「戦争・戦略の変遷」研究会訳『現代戦略思想の系譜——マキャヴェリから核時代まで』ダイヤモンド社、1989年、544頁。
 - ・赤木『第二次世界大戦の政治と戦略』248頁。
 - ・同上、250頁。
 - ・マッカイズック「大空からの声」108頁。
 - ・「米大統領、イラク駐留軍削減・撤退の道筋示す」『読売新聞』2005年12月1日。
 - ・西田恒夫ほか「座談会 国際情勢の動向と日本外交」『国際問題』第516号(2003年3月)9～10頁。
 - ・三枝茂智「聯盟六星霜の軍縮運動」『国際知識』第6巻第1号(1926年1月)44頁。
 - ・建川大使発松岡外務大臣宛、第596号(「第二次欧州大戦関係一件・独蘇開

戦関係」外務省外交史料館所蔵)。

- 西田「座談会 国際情勢の動向と日本外交」11頁。
②欧文文献
- Michel Howard, *Studies in War and Peace* (London: Temple Smith, 1970), p. 156.
- Daryl G. Press, “The Myth of Air Power in the Persian Gulf War and the Future of Warfare,” *International Security*, Vol. 26, No.2 (Fall 2001), pp. 5-14.
- Personal Minutes, Churchill to Portal, 27 September 1941, in Papers of Lord Portal, folder 2c [hereafter PP, with folder number], Christ Church Library, Oxford.
- Sir Charles Webster and Noble Frankland, *The Strategic Air Offensive Against Germany, 1939-1945*, Vol. 1 (London: HMSO, 1961), pp. 170-180. [hereafter referred to as WF, with volume number].
- Charles F. Brower; IV, “The Joint Chiefs of Staff and National Policy: American Strategy and the War with Japan, 1943-1945,” (Ph. D. Dissertation, University of Pennsylvania, 1987), pp. 209-210.
- Phillip S. Meilinger, “Proselytizer and Prophet: Alexander P. de Seversky and American Air Power,” John Gooch, ed., *Air Power: Theory and Practice* (London: Frank Cass, 1995), pp. 17-19.
- Henry R. Lieberman, “Freed American Tells of Drugging With ‘Truth Medicine’ in China,” *The New York Times*, 12 July 1952, p. 1.
- Howard, *Studies in War and Peace*, p. 150.
- *Ibid.* p. 151.
- Entry for 10 July 1950, Stratemeyer Diary, File K720.13A, June-October 1950, Air Force Historical Research Agency, Maxwell AFB, Ala.: U. S. Department of State, *Foreign Relations of the United States, 1950* Volume VII, *Korea* (Washington, D.C.: USGPO, 1976), pp. 240-241.
- Brower; “The Joint Chiefs of Staff and National Policy”, p. 201.
- Minute, Churchill to Portal, 7 October 1941, 1-3, PP, folder 2c.